

1. 口演発表

1) 発表時間

発表：7分 質疑：3分

2) 発表日時

日 程	セッション名	時 間	会 場
2月8日(土)	口演発表1	10:40～11:40	第3会場 (3F 304)
	口演発表2	14:50～16:00	
2月9日(日)	口演発表3	9:30～10:30	第5会場 (3F 313+314)
	口演発表4	10:40～11:20	

3) 口演発表について

- ・ご発表されるセッション開始の15分前までに会場にお入りください。
- ・ご自身の発表開始の15分前になりましたら、会場前方の次演者席に着席ください。
- ・舞台上には、モニター・マウス・キーボード・レーザーポインターを設置いたします。操作はご自身でおこなってください。
- ・舞台上には、発表時間を示すタイマーが設置されております。発表開始後、6分が経過した際に黄色のランプが点灯します。7分間の発表時間を超えた場合、赤色のランプが点灯します。

2. 発表方法

- 1) Microsoft Power Pointを使用したPCでの発表を原則といたします。
- 2) Windowsをご利用の場合はMicrosoft Power Point 2024～2010で作成したデータをUSBフラッシュメモリまたはCD-Rにてご持参ください。
- 3) 文字フォントは、OSに設定されている標準フォントをご使用ください。
【日本語】MSゴシック・MSPゴシック・MS明朝・MSP明朝
【英 語】Arial・Arial Black・Arial Narrow・Century・Gothic・Courier・Courier New・Georgia・Times New Roman
- 4) スライドサイズは16:9、解像度はFull HD(1920×1080)を推奨いたします。
- 5) アニメーション・動画は使用可能です。ただし、以下を厳守してください。
Power Pointに貼り付けている動画ファイルも必ずご持参ください。
※動画を使用の場合、バックアップ用としてご自身のノートパソコンを必ずご持参ください。
- 6) 音声は使用できません。
- 7) 利益相反の状態について学会ホームページを参照いただき、発表スライドの2番目に開示してください。
- 8) Macintoshをご使用の場合は、ご自身でPCをお持ちください。(本体付属のコネクターもご持参ください。)

3. PC受付センター

場 所	3F ロビー
受 付 時 間	2月8日(土) 9:00 ~ 17:00
	2月9日(日) 8:00 ~ 14:00

- 1) ご自身の発表時間の1時間前までにPC受付センターに発表データまたは、ご自身のPCをご持参いただき、受付・試写をしてください。
- 2) 会場内のシステムと同一のものをご用意いたします。
(原則として、PC受付センターや講演会場内PCデスクでのデータ修正はお断りいたします。)
- 3) ご自身のデータ内容確認の他、遠隔操作の動作確認および映像の外部出力をおこないます。
(問題発生時にはスタッフにお声がけください。)

※PCをご持参される方

- 1) 電源(AC)アダプターを必ずご持参ください。
- 2) ディスプレイ外部出力は、基本的にHDMIを使用します。それ以外の形状のパソコンは、必ず専用アダプターをご持参ください。
- 3) 万一のトラブルに備え、バックアップデータをUSBフラッシュメモリまたはCD-Rに保存してご持参ください。
- 4) 発表中にスクリーンセーバーに切り替わったり、省電力機能で電源が切れたりしないよう設定をご確認ください。

4. 利益相反 (COI) の開示

公益社団法人日本口腔インプラント学会 第44回関東・甲信越支部学術大会での筆頭発表者には、利益相反の有無に関わらず、開示が義務付けられています。

口頭発表の際、最初から2番目のスライドに「様式2 発表時に使用する様式」を追加して開示してください。

COIの詳細、フォーマットについては、下記の公益社団法人日本口腔インプラント学会ホームページ「利益相反 (COI) 状態の申告について」のページをご確認ください。

<https://www.shika-implant.org/coi/>

5. 質疑応答

質問は座長の指示に従い、所定のマイクで所属・氏名を明らかにして、要領よく簡潔に発言してください。時間節約の為、発言される方は、予めマイク近くにお越しください。

10:40 ~ 11:10

口演発表1-1

座長：秋葉陽介(新潟大学大学院医歯学総合研究科生体歯科補綴学分野)

- 0-01 オゾンナノバブル水浸漬保存によるインプラント表面改質の可能性
中澤正博(九州インプラント研究会)
- 0-02 歯槽粘膜下のチタン微粒子により誘導される免疫応答の解析
牧野将大(東京歯科大学口腔インプラント学講座)
- 0-03 骨造成を目的とした Epigallocatechin-3-gallate (EGCG) 徐放性担体としての Plasma Gel Matrix (PGm) の可能性に関する基礎的検討
笠原朋似(東京形成歯科研究会)

11:10 ~ 11:40

口演発表1-2

座長：玉川崇皓(日本大学歯学部付属歯科病院特殊診療部歯科インプラント科)

- 0-04 新規骨移植材のラット頭蓋骨における骨形成能評価
中山允貴(昭和大学大学院 歯学研究科 インプラント歯科学分野)
- 0-05 広汎型重度歯周炎患者に対して抜歯即時埋入による咬合再構成を用いた全顎治療を行った1症例
富田尚充(鶴見大学歯学部インプラント科)
- 0-06 ダイナミックナビゲーションシステムを使用したザイゴマインプラントの1症例
鎌倉 聡(京都インプラント研究所)

14:50 ~ 15:20

口演発表2-1

座長：前田 貢(ユニバーサルインプラント研究所)

- 0-07 上顎洞粘液貯留嚢胞の吸引療法後に上顎洞底挙上術を行った1例の16年経過報告
田中 中(一般社団法人インプラント再建歯学研究会)
- 0-08 ソケットプリザベーション後に骨増殖を認めた1症例
杉木隆之(日本歯科大学大学院新潟生命歯学研究科機能性咬合治療学)
- 0-09 チタンベースを用いないジルコニア製インターナルコネクションアバットメントに関する予後の臨床的検討
矢木鴻太郎(昭和大学歯学部インプラント歯科学講座)

15:20～16:00

口演発表2-2

座長：上杉崇史（昭和大学歯学部インプラント歯科学講座）

- 0-10 多数歯先天性欠損患者に歯列矯正とインプラント治療で対応した10年経過症例
岩田光弘（岡山大学病院）
- 0-11 ザイゴマインプライアントにおけるアバットメントトラブルをリカバリーした1症例
安藤琢真（ユニバーサルインプラント研究所／関東・甲信越支部）
- 0-12 歯性上顎洞炎治療後に上顎にインプラント治療を行う際の工夫
大場英典（東京医科大学口腔外科学分野／東京医科大学茨城医療センター歯科口腔外科）
- 0-13 歯肉骨膜剥離子の開発について一容易な剥離が可能なデザインー
西山晃司（一般社団法人東京形成歯科研究会）

9:30 ~ 10:00

口演発表3-1

座長：熱田 互 (一般社団法人日本インプラント臨床研究会)

- 0-14 デジタルインプラントデンティストリー：スマイルデザインからデータ統合まで
酒井紀世子(みなとみらい(MM)インプラントアカデミー)
- 0-15 インプラント周囲骨吸収の原因の多様化
勝山裕子(みなとみらい(MM)インプラントアカデミー)
- 0-16 前歯部を対象とした患者トラッカーをマウスピースに固定したナビゲーションシステムの
臨床的精度の検証
大久保学(神奈川歯科大学歯科インプラント学講座 口腔再生インプラント学)

10:00 ~ 10:30

口演発表3-2

座長：藤井俊治(新潟再生歯学研究会)

- 0-17 全顎即時荷重におけるリスクファクターの検討
酒井隆太郎(昭和大学歯学部インプラント歯科学講座)
- 0-18 骨造成前後の顎堤変化に対する口腔内スキャナーを用いた客観的評価法の確立
水見開哉(昭和大学歯学部インプラント歯科学講座)
- 0-19 歯槽骨造成術前後の顎堤の高さと顎堤幅の変化に対する客観的評価法の確立
石井康太(昭和大学歯科病院インプラント歯科学講座)

10:40 ~ 11:20

口演発表4

座長：小久保裕司(鶴見大学歯学部附属病院インプラントセンター)

- 0-20 サイナスリフト後の炭酸アパタイトとリン酸オクタカルシウムの吸収量とインプラント埋入時の
初期トルクの比較
永田紘大(神奈川歯科大学 歯科インプラント学講座 口腔再生インプラント学分野)
- 0-21 当科を受診したインプラント予後不良例の検討
草深佑児(信州大学医学部 歯科口腔外科学講座)
- 0-22 自院でのインプラント治療と患者の年齢との関連性
渡部泰昌(関東・甲信越支部)
- 0-23 糖尿病を早期に発見する仕組みの構築を目指した歯科医院での血糖値測定研究
(血糖値測定による糖尿病リスク評価)
藤谷崇人(山梨県歯科医師会/峡東Dental Diabetes 研究会/横浜インプラント研究会)